

第7回 遠賀町ビジネスプランコンテスト  
エントリーシート

提出日 令和4年 9月 12日

ビジネスプラン名	みんなでつくる遠賀川駅カンパニー		
フリガナ	オンガ タロウ	性別	男・女
氏名	遠賀 太郎		
住所	〒811-4307 遠賀郡遠賀町遠賀川1丁目〇〇-△△		
ご連絡先 (携帯など連絡のつきやすい番号)	090-1234-XXXX	生年月日	T・S・H 3年 月 日 (満 31 歳)
E-mail	abc@●●●xyz.co.jp		
勤務先	遠賀商店		
団体名 (個人での応募の場合は空欄)			
★あなたの提出するプランがあてはまる区分に、○をつけてください。複数可。			
①保健、医療又は福祉 ( )			
②社会教育 ( )			
③まちづくりの推進 ( ○ )			
④観光 ( ○ )			
⑤農山漁村又は中山間地域の振興 ( ○ )			
⑥文化、芸術 ( )			
⑦環境・エネルギー関連 ( )			
⑧災害救援・地域安全 ( )			
⑨人権・平和・国際協力 ( )			
⑩子どもの育成、若者の自立支援 ( )			
⑪IT・情報化社会の発展 ( )			
⑫スポーツ、健康の維持・増進 ( )			
⑬商店街振興 ( ○ )			
⑭新しい商品・サービス、ものづくりや技術支援 ( ○ )			
⑮人材育成、職業能力の開発又は雇用機会の拡充 ( ○ )			
⑯消費者の保護 ( )			
⑰男女共同参画社会の形成 ( )			
⑱その他、社会的、地域課題解決の支援 ( ○ )			
★応募するビジネスプランについて		★ビジネスプランコンテストをどこで知りましたか。	
<input type="checkbox"/> 事業として着手している ※開始時期 ( 年 月 )		<input type="checkbox"/> チラシ	
<input checked="" type="checkbox"/> 着手していない		<input checked="" type="checkbox"/> ホームページ	
<input type="checkbox"/> アイデアの段階である		<input type="checkbox"/> メールマガジン	
		<input type="checkbox"/> 学校関係者	
		<input type="checkbox"/> Facebook	
		<input type="checkbox"/> 知人・友人	
		<input type="checkbox"/> その他 ( )	
★将来、起業や新規事業展開の希望がありますか。		★遠賀町でこうしたいというものや、困っていることがあったら教えてください。	
<input checked="" type="checkbox"/> ある		子どもに遠賀の魅力を体験させたい	
<input type="checkbox"/> 興味あり			
<input type="checkbox"/> なし			

ビジネスプランの概要を、下記の内容を踏まえて作成してください  
(様式は自由です。1次審査通過者は2次審査でプレゼンをお願いします)

### 1. ビジネスの目的

2021年7月31日に、JR遠賀川駅がリニューアルオープンしました。

さらに遠賀川駅には、2023年4月に交流センター「おんがみらいテラス」の新築オープンが予定されておりこの交流センターが遠賀川駅前と遠賀町全体の経済活性化や生活幸福度の向上のための大きなチャンスであると考えており、ビジネスプランとして提出させていただきます。

このビジネスの目的は、以下のとおりです。

- ① 交流センターの構築、オープンに向けて、地域の関係者の参加を促し、意見を集約する
- ② 地域(遠賀川駅周辺)の、にぎわいづくりと経済発展を導く
- ③ 自ら収益を上げる(稼ぐ)交流センター事業とする
- ④ 遠賀町全体の産業活性化と住民の生活幸福度を向上させる

### 2. どのような商品・サービスを提供するものか

上記の目的を達成するために、交流センターを拠点に次の事業を行います。

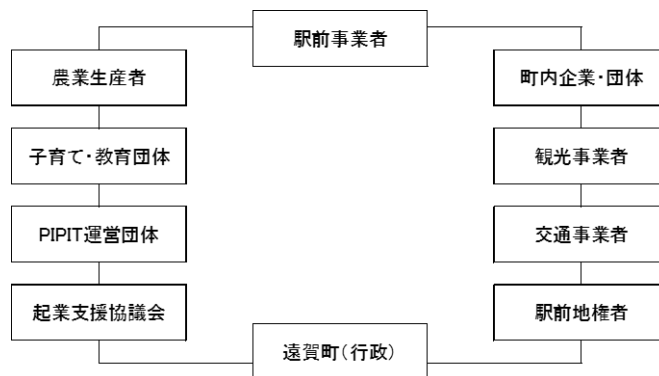
#### I) 交流センター運営事業

#### II) 起業支援事業

#### III) 地域魅力発信事業

また、2023年4月のオープン時までには、各事業に関する地域関係者の理解と参加意識を確立するため、各事業は2021年度中に準備をスタートさせるべきと考えています。

交流センターの運営について協議し、本事業を実施するために、遠賀町内の事業者により構成されるカンパニー(事業体)を組織します。実施する事業は上記の3事業ですが、構成メンバーは全ての事業に関わることにより、3事業は有機的に実施され、相乗効果を生むこととなります。



### 3. おおよその単価、他と違う品質など

各事業の実施内容として、次のとおり計画します。

#### I) 交流センター運営事業

##### ○施設運営

来館しやすく居心地の良い環境づくり

起業支援、地域魅力発信と連携した施設の活用

##### ○交流イベント企画運営

地域の住民同士、あるいは住民と事業者、住民と移住希望者等との交流促進

地域住民や事業者による成果発表の機会創出

子育て支援、高齢者介護等の地域課題の研修と体験



5. どれくらいの資金が必要か

店舗費・改装費用・車両費・什器・設備・仕入・光熱費・人件費・WEB 関連など具体的に  
**交流センターの受益者は遠賀町の住民と事業者であるため、本事業は非営利事業と考えております。**  
**そのため、事業を継続させるための最低限の収益で計画しています。**

種別	2021年度		2022年度		2023年度		
収入	交流センター 運営事業	セミナー助成金	100	企業会費(20×10社)	200	企業会費(50×20社)	1,000
				研修参加費(0.5×8名×10回)	40	施設利用料(管理分)(20×50回)	1,000
			キックオフ研修参加費(2×50名)	100	交流イベント参加費(1×20名×24回)	480	
	起業支援事業		チャレンジマルシェ運営支援(10×12店舗)	120	起業支援委託(従来のPIPIT基準)	8,000	
				チャレンジショップ運営支援(50×12カ月)	600		
				専門家派遣(40×12回)	480		
地域魅力 発信事業	調査委託	50	産直マルシェ営業支援(10×12店舗)	120	体験観光ツアー収益(5×100名)	500	
			町内ツアー参加費収益(2×20名)	40	ふるさと納税企画運営(1億×8%)	8,000	
					産直ショップ・マルシェ営業支援	720	
収入計		150		620		20,780	
支出	交流センター 運営事業	セミナー謝金等	80	人件費	150	人件費(フルタイム)	4,000
		人件費	30	資料作成	60	人件費(アルバイト)	480
				キックオフ研修謝金等	80	自主セミナー開催	120
					一般経費	400	
起業支援事業	人件費	15	チャレンジマルシェ設備備品	24	人件費(フルタイム)	4,000	
			人件費	60	人件費(アルバイト)	960	
			ビジョン協賛	30	チャレンジショップ運営経費	360	
				一般経費	1,000		
地域魅力 発信事業	人件費	15	産直マルシェ設備備品	24	人件費(フルタイム2名)	6,000	
			人件費	60	産直ショップ・マルシェ運営経費	600	
			HP構築	120	HP運営・広報	200	
				一般経費	1,000		
支出計		140		608		19,120	
収益		10		12		1,660	

6. 実施場所

遠賀町内(                      辺り)、遠賀郡全域、北九州市、福岡市、福岡県全域、九州全域、全国  
**遠賀町内(遠賀川駅隣接の交流センター)**

7. 開始時期 西暦                      年                      月頃

**西暦 2022 年 1 月頃**

8. あなたの持っている資源(ヒト・モノ・知識・経験)

応募者が保有し、本事業に活用できる資源は以下のとおり

I) 交流センター運営事業

(資格)建築士、宅地建物取引士

(経験)店舗ディスプレイ業歴、観光協会でのイベント企画運営、他

II) 起業支援事業

(資格)ファイナンシャルプランニング技能検定3級

(経験)〇〇県 NPO・ボランティアセンター運営・相談業務、△△△コーディネーター

III) 地域魅力発信事業

(資格)国内旅行業務取扱管理者免許、観光コーディネーター

(経験)観光協会でのツアー造成、JA 販売促進係での特産品販売、地産地消推進事業

9. 地域貢献・社会に及ぼす効果

このビジネスにより、以下の効果が期待できます。

- ① 自分たちで事業化する交流センターとなるため、センターの来館や利用の促進につながります
- ② 遠賀川駅前商店街の来店客増が見込まれ、空き店舗の解消や後継者難への解決につながります
- ③ 自ら稼ぐ交流センターは公費の投下を軽減でき、町の予算を福祉等の事業に活用できます
- ④ 人が動くことが町内経済の循環を促進させ、生き活きとした地域づくりにつながります

※頂いた情報は本事業以外には使用致しません。

遠賀町起業支援施設 PIPIT(ピピット)